

2025年度大阪府訪問看護実践研修 教育ステーション事業実績報告

中河内ブロック

テnderケア訪問看護ステーション 管理者 檜木 政子



本日の発表内容について

- 目標
- 計画
- 実践内容(研修事業、体験研修、電話相談、コンサル)
- 地域における協力体制についての気づき
- 設定した目標の評価
- 教育ステーション事業全体の効果と次年度の課題

目標

- ①多職種向けACP研修を行い、地域での定着を促進する
- ②人体模型を使用した実践型のフィジカルアセスメントの研修を行い、臨床推論の力を身につけ、日々の看護に活かしてもらう。
しいては、日々のケアの質向上を目指す
- ③コンサルテーション事業の周知活動に尽力し、コンサルテーション件数を増やす。また、日々のケア・サービスの内省を専門的視点でのアドバイスを得て、質の向上を目指す

計画

①研修事業 集合研修3回

②府民への相談支援事業 . . なし

③訪問看護体験研修 管理者3件、スタッフ3件

④電話FAX相談 4件

④コンサルテーション . . . 同行10件、電話10件

実践内容

項目	予定	実施
研修事業	集合3回	集合 3 回
体験研修	管理者 3件 スタッフ3件	管理者 0件 スタッフ 7件
電話・FAX相談	4件	16 件
コンサルテーション	同行 10件 電話 10件	同行 14 件 電話 10件

実践内容 ①研修事業

2025年7月26日

「ACP支援実践人材育成研修」

場所：藤井会東大阪看護学校

参加者：45名

(医師・看護師・ケアマネ・リハビリ・ヘルパー・精神保健福祉士・救命士・学生・事務員)



2025年度大阪府訪問看護実践研修事業教育ステーション



「令和7年度大阪府人生会議相談対応支援事業」

一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会

中河内ブロック教育ステーション

テnderケア訪問看護ステーション

「人生会議(ACP)」の実践に必要な基本的概念や知識・方法がわかる 人生会議(ACP)支援実践人材育成研修のご案内

在宅医療が推奨されている現状の中で医療介護の連携を踏まえ、「人生会議(ACP)」の基本的知識や考え方、方法についての研修会を行う運びとなりました。課題とされている、人生会議の認知度の低さ、終末期について語りあう文化的障害、本人と家族の希望のズレ、本人の気持ちの変化等様々な問題が挙げられますが、少しでも良い関わりができるような研修会にしたいと考えております。ご関心のある医療職や介護・福祉職の方、看護学生の方など興味のある方にご参加いただけますと幸いです。

【開催日時】 2025年7月26日(土) 13時～17時予定

【場 所】 藤井会東大阪看護学校 B1講堂
東大阪市東山町14番39号

【定 員】 50名 (定員超過の場合、受講者の調整をさせていただきます)

【対 象 者】 地域包括ケアシステムに関わる医療・介護・福祉専門職

(看護師、セラピスト、MSW、ケアマネジャー、ヘルパー、相談支援専門員、医師、救急隊、看護学生等)

【プログラム】

・講義

講師：濱吉 美穂氏 (動画)

(佛教大学保健医療技術学部 看護学科 老年看護学領域 教授)

・グループワーク (ロールプレイ)

参加費
無料

申込方法

右のQRコードから申し込みをお願いします



テnderケア訪問看護ステーション

担当：榎木、森

〒577-0013 東大阪市長田中1-4-35-304

TEL: 06-6753-7611 FAX: 06-6753-

7612 Email: info@tender-care.jp

中河内ブロック教育ステーション テnderケア訪問看護ステーション

実践内容 ①研修事業

2025年10月18日

「ACP支援実践人材育成研修」

場所：サポートやお

参加者：52名

(医師・看護師・ケアマネ・リハビリ・ヘルパー・精神保健福祉士・救命士・学生・事務員)



2025年度大阪府訪問看護実践研修事業
教育ステーション事業

「令和7年度大阪府人生会議相談対応支援事業」
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
中河内ブロック教育ステーション
テnderケア訪問看護ステーション

人生会議

ACP支援実践人材育成研修

ご案内

私らしく生きるためにあなたと一緒に学びませんか？

【開催日時】 10/18(土) 13:30~17:00 受付13:00~

【場 所】 社会福祉法人八尾隣保館 サポートやお 2階多目的ホール
大阪府八尾市青山町4丁目4番18号

【対 象 者】 地域包括ケアシステムに関わる医療・介護・福祉専門職
(看護師、セラピスト、MSW、ケアマネジャー、医師、看護学生等)

ご応募・お問い合わせはお気軽にどうぞ！

テnderケア訪問看護ステーション

担当者：森、檜木

お問い合わせ  info@tender-care.jp  06-6753-7611 申し込み



実践内容 ①研修事業

2025年11月29日

「フィジカルアセスメント研修」

場所：メディケアリハビリ訪問看護ST

参加者：21名

(看護師のみ対象)



2025年度大阪府訪問看護実践研究事業
教育ステーション事業

令和7年度大阪府
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
中河内ブロック教育ステーション
デンダーケア訪問看護ステーション

実践に活かす

フィジカル アセスメント



2025年 **11月29日** 土
10:00-12:00

会場 **メディケア・リハビリ訪問看護
ステーション東大阪 3F研修室**

大阪府東大阪市永和1丁目23-27 3階

俊徳道駅から徒歩2分。
近隣にコインパーキングあり。

参加費
無料
(要予約)

Point!! みんなで一緒に考えるフィジカルアセスメント

Point!! 明日から使えるメソッドがたくさん！

Point!! 臨床推論を一緒にしよう！

定員 **20名**

講師 **岩井 兵太**
桧木 政子

訪問看護ステーション
あんず 管理者
デンダーケア訪問看護
ステーション 管理者

申し込み方法

下記の2次元コードを読み込んで、お申し込みをお願いします。



主催

デンダーケア
訪問看護ステーション
担当：森・桧木



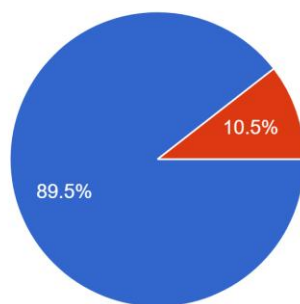
TEL：06-6753-7611

MAIL：info@tender-care.jp

実践内容 ①研修事業アンケート

今日の研修はわかりやすかったですか？

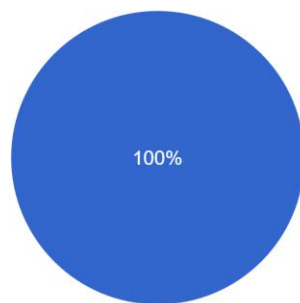
19 件の回答



- 全体を通してわかりやすかった
- わかりやすかったが理解が難しい部分もあった
- 全体を通して難しかった

今日の研修を他の方にも薦めたいですか？

19 件の回答



- 薦めたい
- 薦めにくい(その理由を下の「その他」にご記入ください)

何か追加でコメントがあればお願いします

8 件の回答

わかりやすく大変に参加になりました、ありがとうございました。

本日はありがとうございました。

訪問でのアセスメントの参考になりました。現在介入中の心不全利用者様への対応にも役立つと思います。ありがとうございました

とても分かりやすかったです。
ありがとうございました！

わかりやすかったです。自分でもアセスメントして日々かかわろうと思いました。

アセスメント能力的にはまだまだですが、検査値とか薬とか見てみるの楽しみになりました。

とても勉強になりました。
ぜひ現場で活かしたいし、ステーションでも周知したいです。

研修事業を通じての気づき

▷ACP研修

人生会議が地域で行われることで、本人の希望にそった地域包括ケアに繋がり、しいては質の向上や多職種連携の強化につながる
と感じた

▷フィジカルアセスメント研修

明日から使える知識をテーマに研修を行なった 臨床推論を進めていくロールプレイ形式で知識の向上に繋がった 継続が必要

研修事業を通じての課題

▷コンサル事業や電話相談Q&Aの内容を集計し、カテゴライズする

一番相談件数の多いカテゴリーをテーマにした研修を企画・運営することが質の向上につながると感じた

次年度の研修は、前年度のデータに基づいた研修企画が必要であると感じた(データ集計することで地域特性も可視化される)

訪問看護体験研修事業

- スタッフ研修 目標3件 ● 実績7件
- 管理者研修 目標3件 実績0件

5年目前後の病棟看護師が在宅看護と病棟の違いを学ぶ機会となった

様々な質問にスタッフも刺激を受け、お互いに学びがあった
訪問看護への転職を考えている看護師の応募が多かった

電話相談事業

目標4件 実績16件(内訳：訪看14件、ケアマネ1件、病院1件)

指示書の内容についてが最も多く、書籍では解決できない相談ばかりで、近畿厚生局、役所、難病、こころの健康相談センターなど関係機関に問い合わせし、厚労省に相談するような内容もあった。

解決した際はこちらの知識や経験にもつながり、学びの糧となった。

コンサルテーション事業

- ・電話サポート 目標10件 実績10件(小児6,がん2,精神2)
- ・同行サポート 目標10件 実績14件(小児6,皮膚排泄4,がん4)

いずれも報告書からコンサル後、ケアの質の向上につながっていることがわかった

協会会員のステーションからの依頼が大半だったが、総合病院の往診部(非会員)からの依頼もあった

地域の協力体制について

▷中河内地区では管理者会や役員会により、強い連携体制が整っている

初めての教育ステーション事業においても、研修会の運営や広報など強力なバックアップを得ることができた

▷教育ステーション事業を通して、横の繋がりが広がった

設定した目標の評価について

①多職種向けACP研修を行い、地域での定着を促進する

医者や看護師または介護士などの医療福祉職のみならず、救命士や学生、一般事務職など10職種以上の参加があった。

様々な職種が人生会議を学ぶことで、医療・福祉・地域という場で、本人の意思が尊重され、生き方を考える文化が育つと感じた

継続してACP研修を行うことで、多職種連携の質の向上に繋がり、本人の意思の尊重、家族の負担や後悔の軽減につながる

設定した目標の評価について

②人体模型を使用した実践型のフィジカルアセスメントの研修を行い、臨床推論の力を身につけ、日々の看護に活かしてもらおう。
しいては、日々のケアの質向上を目指す

研修のねらい 明日から実践できる臨床推論

上記のねらいで研修を行なった

臨床推論に関して、事例を元に、気づき、考え、言葉にする、アセスメントする、ことを丁寧に細かく行なった

アンケート結果からも継続して欲しいとの声が多かった

設定した目標の評価について

③コンサルテーション事業の周知活動に尽力し、コンサルテーション件数を増やす。また、日々のケア・サービスの内省を専門的視点でのアドバイスを得て、質の向上を目指す

皮膚排泄・がん・小児・リンパ浮腫ケアに関するコンサルテーションを行なった

看護はリフレクションが大切である

こういった事業を活用して自ステーションの看護ケアの内省を行うことが看護の質の向上につながる

ぜひ様々なステーションに活用していただきたい

広報が課題であると感じた

教育ステーション事業の効果と次年度の課題について

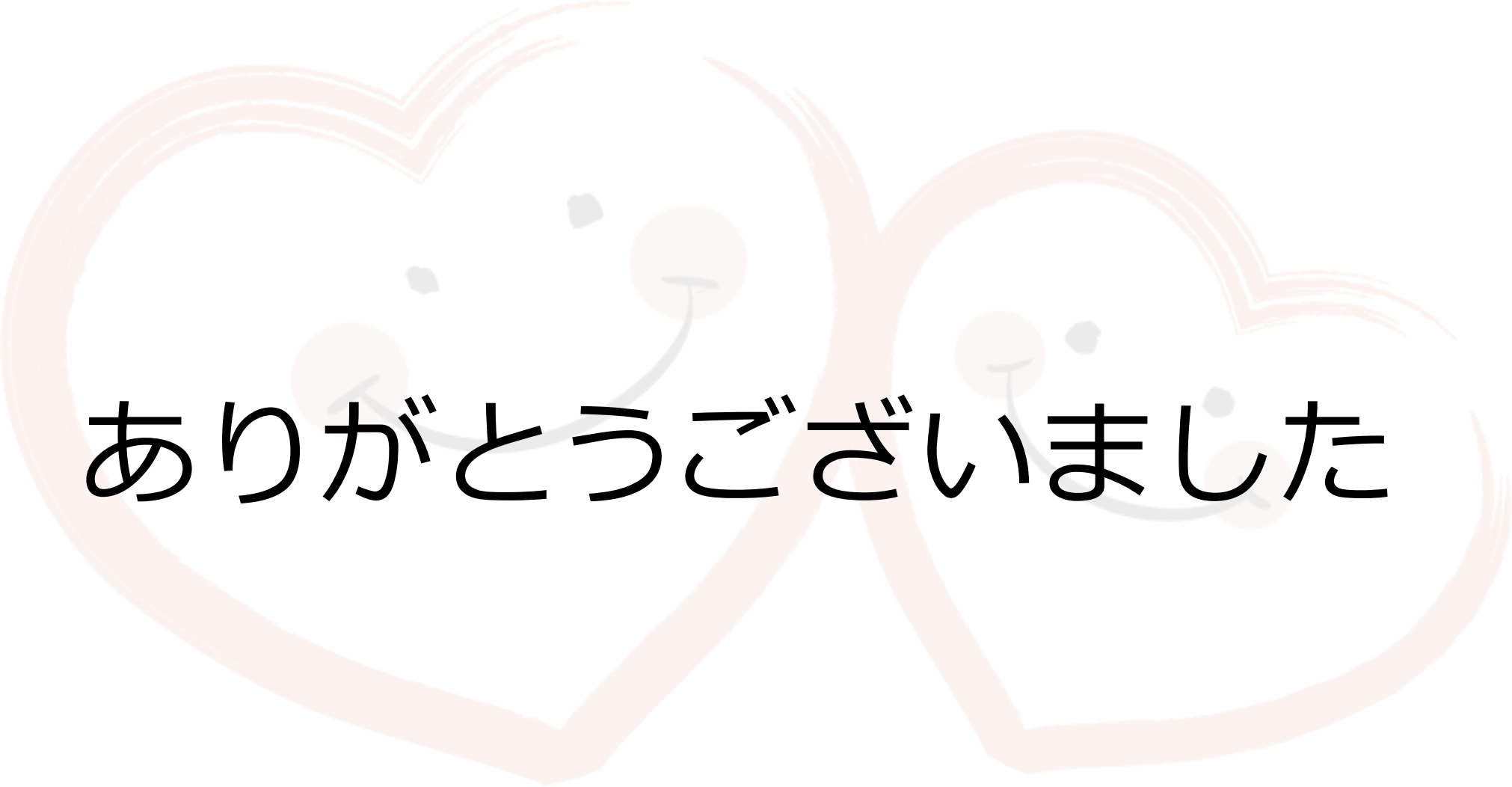
▷効果

実践的な学びの提供と地域連携の強化を実現

▷課題

周知方法の見直しが必要

ニーズに応じた研修テーマの拡充が必要



ありがとうございました